

平成28年6月29日、政策秘書課職員との話です。

6月24日、長久手市主催の「生活支援サポーター養成研修」の特別講演会がエコハウスで行われました。講師は、神奈川県藤沢市で活動する「認定NPO法人ぐるーぷ藤」の理事長 鷺尾公子さんで、私も参加者のみなさんと一緒にお話を伺いました。

ぐるーぷ藤は、平成4年に専業主婦仲間で介護と子育て支援を行うグループからスタートしました。その後、NPO設立を経て、平成17年には「住み慣れた地域で最期まで自分らしく生きたい」という利用者のニーズに対応するため、自分たちで福祉マンションを建設しようと、1口50万円からのファンド形式で、広く市民等から1億円近い出資金を集め、NPOで初めてUR都市機構から土地を売却してもらい、福祉マンションを建設しました。今や厚生労働省からも視察に訪れる、藤沢市にはなくてはならない団体になっています。

## 志あれば道は開ける

鷺尾さんの言葉で印象的だったのは、「旦那は社会資源。『これがしたい!』と思ったときに、役に立つ存在でもある」という言葉です。

というのは、鷺尾さんは、ぐるーぷ藤で計画している事業を応援してもらうため、神奈川県内の大手地銀の頭取に会いたいと思い、スタッフ約140人に「頭取に面会するツテを持っていないか?」と呼びかけたそうです。グループ藤のスタッフはほとんどが女性だそうですが、スタッフの配偶者の知り合いの知り合いと言う形で、頭取はさすがに無理でしたが、副頭取に面会することができたそうです。

鷺尾さんは、「NPOが副頭取に会えるなんてすごいこと。一人一人では限界があるけれど、仲間がいればやれる。志を持つ人のところに、仲間が集まってくるもの」ともおっしゃっていました。

私も常々、「志あれば道は開ける 訳知りに志なし」と思っています。

何でも知っている人は、知識や情報が豊富なだけに、「あれはダメ、これは難しい」と頭の中だけで結論を出してしまい、結局、何もできないことがあるように思います。反対に、自分に「こうしたい!」「これがやりたい!」という志があれば、自分は何をすべきか、そのためには誰に会えばいいのか、参考となる場所や事例が見えてくるはずで、そういう志を持った人、楽しそうにしている人のところに、自然と人が集まってくるのだと思います。

～市長の話聞いて～

よく市長から、「訳知りに志なし」という言葉をよく聞きます。この言葉を聞くたびに、私のことだなあと思います。

私も鷺尾さんにお会いしたことがあります。人を引き付け、巻き込むパワーと、「こうしたい」という強い思いを感じました。もちろん、誰もがそうしたパワーや、志を持てる訳ではありませんが、そうした人の話を聞くのは楽しいと思ったり、一緒に何かをしたら面白いだろうなあとワクワクしたりすることはできます。今すぐに自ら何かを始めることはハードルが高いですが、いろいろな人と出会い、話をする中で、自分がしたいこと、できることが見つかるのではないかと考えています。